

令和4年度

事業実績報告書

学校法人 福山大学

令和4年度 学校法人福山大学事業実績報告書

令和5年5月23日

1. 法人の概要

(1) 基本情報

法人名 福山大学
理事長名 鈴木 省三
住所 広島県福山市東村町字三蔵985番地の1
電話番号 084-936-2111
FAX 番号 084-936-2213
U R L https://www.fukuyama-u.ac.jp/Information_disclosure/
設置大学 福山大学 広島県福山市東村町字三蔵985番地の1
福山平成大学 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1
※学部・学科等については3頁に記載のとおり。

(2) 建学の精神

【福山大学】

福山大学は、地域社会に広く開かれた大学として、学問にのみ偏重するのではなく、真理を愛し、道理を实践する知行合一の教育によって、人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育を行う。

【福山平成大学】

福山平成大学の建学の理念は、あくまでも人間性を尊重し、調和的な全人格陶冶を目指す全人教育を行うことである。

(3) 学校法人の沿革

昭和50年1月10日	学校法人福山大学及び福山大学設置認可。
昭和50年4月1日	福山大学開学。経済学部（経済学科）、工学部（電子・電気工学科、土木工学科）開設。
昭和51年4月1日	福山大学工学部建築学科開設。
昭和54年4月1日	福山大学大学院工学研究科（電子・電気工学専攻修士課程、土木工学専攻修士課程）開設。
昭和57年4月1日	福山大学薬学部（薬学科、生物薬学科）開設。
昭和61年4月1日	福山大学工学部情報処理工学科、生物工学科開設。
昭和62年4月1日	福山大学大学院薬学研究科（医療薬学専攻修士課程）開設。
平成元年4月1日	福山大学経済学部経営情報学科、工学部食品工学科開設。
平成2年4月1日	福山大学大学院工学研究科（生物工学専攻 修士課程）開設。
平成3年4月1日	福山大学工学部機械工学科開設。福山大学大学院経済学研究科（経済学専攻修士課程）開設。福山大学大学院工学研究科（情報処理工学専攻修士課程）開設。
平成5年12月21日	福山平成大学設置認可。

平成 6 年 4 月 1 日	福山大学大学院工学研究科(建築学専攻修士課程)開設。 福山平成大学開学。経営学部(経営情報学科、経営法学科、経営福祉学科)開設。
平成 7 年 4 月 1 日	福山大学大学院工学研究科「生物工学専攻(修士課程)」を「生命工学専攻(博士前期課程)」に名称変更。福山大学大学院薬学研究「医療薬学専攻(修士課程)」を「医療薬学専攻(博士前期課程)」に名称変更。福山大学大学院工学研究科(機械工学専攻修士課程)、工学研究科(電子情報工学専攻博士課程)、工学研究科(生命工学専攻博士後期課程)、薬学研究科(医療薬学専攻博士後期課程)開設。
平成 8 年 4 月 1 日	福山大学経済学部国際経済学科、大学院工学研究科(地域空間工学専攻博士課程)開設。
平成 10 年 4 月 1 日	福山大学工学部海洋生物工学科、大学院工学研究科(設計生産工学専攻博士課程)開設。
平成 11 年 4 月 1 日	福山大学工学部「土木工学科」を「建設環境工学科」に「食品工学科」を「応用生物科学科」に名称変更。
平成 12 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部人間文化学科、同環境情報学科開設。 福山平成大学大学院経営学研究科経営情報学専攻修士課程、同経営法学専攻修士課程開設。
平成 14 年 4 月 1 日	福山大学生命工学部(生物工学科、応用生物科学科、海洋生物工学科)開設。
平成 16 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部心理学科開設。 福山平成大学福祉健康学部福祉学科、健康スポーツ科学科開設。
平成 18 年 4 月 1 日	福山大学経済学部税務会計学科、薬学部薬学科(6年制)開設。 福山平成大学福祉健康学部福祉学科社会福祉学専攻、同幼児保育学専攻開設。
平成 19 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部メディア情報文化学科、工学部建築・建設学科開設。福山大学大学院人間科学研究科心理臨床学専攻修士課程開設。 福山平成大学看護学部看護学科開設。
平成 20 年 4 月 1 日	福山大学生命工学部生命栄養科学科開設、同生命工学部海洋生物工学科を海洋生物科学科に名称変更。 福山平成大学福祉健康学部こども学科開設。同経営学部経営情報学科を経営学科に名称変更。
平成 21 年 4 月 1 日	福山大学工学部電子・電気工学科を電子・ロボット工学科に名称変更。 福山平成大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康学専攻修士課程、看護学研究科看護学専攻修士課程開設。
平成 23 年 4 月 1 日	福山平成大学助産学専攻科開設。
平成 24 年 4 月 1 日	福山大学大学院薬学研究科医療薬学専攻博士課程(4年制)開設。
平成 26 年 4 月 1 日	福山大学工学部電子・ロボット工学科をスマートシステム学科に、工学部建築・建設学科を建築学科に名称変更。
平成 28 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部メディア情報文化学科を人間文化学部メディア・映像学科に名称変更。

(4) 設置する学校・学部・学科等の学生数の状況(令和4年5月1日現在)

【福山大学】

(単位：人)

学部等		学科等	志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数	
学 部	経済学部	経済学科	460	170	175	660	681	
		国際経済学科	62	50	26	200	160	
		税務会計学科	74	50	39	200	159	
	人間文化学部	人間文化学科	136	50	53	200	216	
		心理学科	134	50	50	200	228	
		メディア・映像学科	81	50	39	200	158	
	工学部	スマートシステム学科	86	30	19	140	75	
		建築学科	187	70	60	280	278	
		情報工学科	245	50	67	200	218	
		機械システム工学科	74	50	22	200	115	
	生命工学部	生物工学科	73	50	21	200	117	
		生命栄養科学科	46	50	27	200	126	
		海洋生物科学科	370	100	104	400	451	
	薬学部	薬学科(6年制)	365	150	103	900	674	
計			2,393	970	805	4,180	3,656	
大 学	経済学研究科	修士課程 経済学専攻	2	8	2	16	11	
	人間科学研究科	修士課程 心理臨床学専攻	11	10	7	20	13	
	工学研究科	修士課程 電子・電気工学専攻	3	2	1	4	5	
		修士課程 建築学専攻	3	3	3	6	3	
		修士課程 情報処理工学専攻	0	2	0	4	2	
		修士課程 機械工学専攻	0	2	0	4	0	
		博士前期課程 生命工学専攻	2	8	2	16	4	
	修士課程、博士前期課程 計			21	35	15	70	38
	工学研究科	博士課程 電子情報工学専攻	1	2	0	6	0	
		博士課程 地域空間工学専攻	0	3	0	9	0	
		博士課程 設計生産工学専攻	0	2	0	6	0	
博士後期課程 生命工学専攻		0	4	0	12	0		
薬学研究科	博士課程 医療薬学専攻	0	3	0	12	3		
博士課程、博士後期課程 計			1	14	0	45	3	
計			22	49	15	115	41	
合 計			2,415	1,019	820	4,295	3,697	

【福山平成大学】

(単位：人)

学部等	学科等	志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数	
学部	経営学部	経営学科	96	50	37	200	179
	福祉健康学部	福祉学科	54	60	22	240	105
		こども学科	81	50	45	200	169
		健康スポーツ科学科	137	100	97	400	369
	看護学部	看護学科	243	80	78	320	322
計		611	340	279	1,360	1,144	
大学院	経営学研究科	修士課程 経営情報学専攻	0	5	0	10	0
	スポーツ健康科学研究科	修士課程 スポーツ健康科学専攻	3	5	3	10	6
	看護学研究科	修士課程 看護学専攻	2	5	2	10	2
	計		5	15	5	30	8
専攻科	助産学専攻科	16	10	7	10	7	
合計		632	365	291	1,400	1,159	

(5) 収容定員充足率(毎年度5月1日現在)

(単位：%)

学校名等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
福山大学	学部	87.3	92.4	93.1	90.6	87.5
	大学院	47.8	40.9	36.5	40.0	35.7
福山平成大学	学部	84.9	85.5	85.8	84.0	84.1
	大学院	26.7	23.3	30.0	26.7	26.7
	専攻科	90.0	40.0	70.0	100.0	70.0

(6) 役員概要 (令和4年5月27日現在)

理事数 17人 理事定数 14人以上18人まで

役職名	氏名	就任年月日	現職等	常勤・非常勤の別	担当する職務内容
理事長	鈴木 省三	H23. 5. 26	(学)福山大学理事長	常勤	経営・財務
常務理事 副理事長	尾崎 史郎	H28. 5. 27	(学)福山大学統括参事・ 福山大学参事	常勤	経営・財務・企画・ 産学連携
副理事長	松田 文子	H22. 6. 1	福山大学顧問・前福山大学長	常勤	経営・財務・教育・ 研究
理事	大塚 豊	H29. 5. 26	福山大学長	常勤	経営・教育・研究・ 教育連携
理事	富士 彰夫	H24. 5. 27	福山平成大学長	常勤	経営・教育・研究・ 教育連携・国際連携
理事	岡崎 文憲	H26. 5. 27	(学)福山大学参与・ 福山大学参事	常勤	財務・企画調整
理事	鶴田 泰人	H31. 4. 1	福山大学副学長・薬学部教授	常勤	教育・研究・企画・ 産学連携
理事	川久保 和雄	H30. 5. 27	福山平成大学副学長・経営 学部長	常勤	教育・研究・企画・教育連携・ 産学連携・国際連携・危機管理
理事	平 伸二	R 2 . 5. 27	福山大学副学長・人間文化 学部教授	常勤	教育・研究・企画・ 危機管理
理事	菌頭 里美	R 4. 5. 27	(学)福山大学事務局長・ 福山大学参事	常勤	財務・企画
理事	牟田 泰三	H28. 5. 27	元福山大学長・元広島大学長	非常勤	教育・研究
理事	天野 肇	H24. 5. 27	(公財)天野スポーツ振興 財団理事長	非常勤	経営・財務・教育連携
理事	吉留 義史	R 4. 5. 27	福山平成大学副学長・ 事務局長	常勤	企画・教育連携・ 産学連携
理事	小澤 興朗	H24. 5. 27	(一財)国際教育協会代表理事	非常勤	教育連携・国際連携
理事	松本 茂太郎	R 3. 7. 22	福山商工会議所 副会頭 福山ガス(株)代表取締役社長	非常勤	経営・財務・産学連携
理事	小丸 成洋	R 1. 7. 20	福山商工会議所 副会頭 福山通運(株)代表取締役社長	非常勤	経営・財務・産学連携
理事	秋山 智昭	R 2. 5. 27	弁護士	非常勤	コンプライアンス

※天野 肇理事は令和4年12月30日逝去により退任

監事数 2人 監事定数 2人

氏名	就任年月日	常勤・非常勤の別
安保 昇	H18. 5. 27	常勤
光波 祥二郎	H28. 5. 27	常勤

私大協役員賠償責任保険制度（役員賠償責任保険）

本法人は、令和2年度から私大協役員賠償責任保険制度(役員賠償責任保険)に、令和4年度から私大協役員賠償責任保険制度(サイバーリスク保険)に加入している。

私大協役員賠償責任保険制度（役員賠償責任保険）

団体契約者 日本私立大学協会
 被保険者 記名法人 学校法人福山大学、個人被保険者 理事・監事、評議員
 補償内容 学校法人におけるガバナンス体制構築の中核を担う学校法人の役員個人に対する賠償責任や争訟費用等を補償
 支払限度額 5億円

私大協役員賠償責任保険制度（サイバーリスク保険）

団体契約者 日本私立大学協会
 被保険者 学校法人福山大学
 補償内容 サイバー攻撃やヒューマンエラーによる個人情報漏洩に起因した賠償責任や個人情報保護法の改正に伴って義務化された事項の対応に必要な各種費用を補償
 支払限度額 賠償額1億円及び費用5千万円

(7) 評議員の概要（令和4年5月27日現在）

評議員数36人 評議員定数32人以上39人まで

氏名	就任年月日	現職等
赤松 治美	H24. 5. 27	福山商工会議所 副会頭・(株)アカシン 代表取締役会長
天野 肇	H18. 5. 27	(公財)天野スポーツ振興財団 理事長
伊丹 利明	R 4. 5. 27	福山大学副学長・生命工学部教授
井上 敦子	R 4. 5. 27	福山大学薬学部長
入鹿 泰彰	R 4. 5. 27	福山平成大学同窓会会長・(社福)敬友会あおざき勤務
占部 誠	H18. 5. 27	占部建設工業(株) 代表取締役会長
多木 稔明	H19. 5. 27	福山大学経済学部同窓会理事・福山産業(有)代表取締役社長
大島 衣恵	H27. 5. 26	喜多流能楽師・エリザベト音楽大学非常勤講師
大高 弘士	R 4. 5. 27	福山大学事務局長
岡崎 文憲	H17. 5. 27	(学)福山大学参与・福山大学参事
尾崎 史郎	H27. 5. 26	(学)福山大学統括参事・福山大学参事
川久保 和雄	H30. 5. 27	福山平成大学副学長・経営学部長
北川 祐治	H24. 5. 27	府中商工会議所 会頭・(株)北川鉄工所 代表取締役会長・(兼)社長
喜多村 崇	H20. 12. 19	福山大学経済学部同窓会理事
熊野 弘幸	R 4. 5. 27	福山通運(株)代表取締役副社長
小林 義和	R 2. 5. 27	(社福)一れつ会 相談役
佐々木 重綱	H12. 12. 21	佐々木産業(有) 会長
澤崎 眞彦	R 2. 5. 27	東京学芸大学名誉教授・日本教材学会 会長
鈴木 省三	H26. 5. 27	(学)福山大学理事長
藪頭 里美	H29. 5. 26	(学)福山大学事務局長・福山大学参事
鶴田 泰人	H28. 5. 27	福山大学副学長・薬学部教授
寺岡 晋作	H24. 5. 27	(株)ロイヤルコーポレーション 代表取締役社長
永井 純子	H30. 5. 27	福山平成大学福祉健康学部長
棗田 浩成	H30. 5. 27	福山大学卒業生・(株)三幸社 代表取締役社長
林 克士	H24. 5. 27	福山商工会議所 会頭・靱鉄道(株) 代表取締役会長
平 伸二	H28. 5. 27	福山大学副学長・人間文化学部教授
藤井 基博	H 3. 4. 1	藤井商事(株) 取締役会長

藤澤 邦宏	R 3. 5. 26	福山平成大学後援会会長・クラブン(株) 勤務
松本 壯一郎	R 4. 5. 27	山陽染工(株)代表取締役社長
水田 博之	H30. 5. 27	福山大学同窓会会長・(有)パウワウ 代表取締役社長
牟田 泰三	H22. 6. 1	元福山大学長・元広島大学長
村上 俊二	H28. 5. 27	青葉出版(株) 代表取締役会長
山本 芳嗣	R 4. 5. 27	福山大学後援会副会長・ホーコス(株)勤務
吉田 大造	H24. 5. 27	製鐵原料(株) 代表取締役社長
吉留 義史	H28. 5. 27	福山平成大学副学長・事務局長
渡邊 不二夫	H28. 5. 27	(株)道南冷蔵 営業顧問

※天野 肇評議員は令和4年12月30日逝去により退任

※藤井基博評議員は令和5年3月1日逝去により退任

(8)教職員の概要 (令和4年5月1日現在)

【福山大学】

常勤教職員

(単位：人)

	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	事務職員等
経済学部			14	5	11	3		33	76 ※法人職員 を含む。
人間文化学部		1	10	10	7		2	30	
工学部			19	12	4	1	2	38	
生命工学部		1	23	5	6	1	10	46	
薬学部		1	19	12	6	3	8	49	
センター他	1		3	5	5	6	1	21	
計	1	3	88	49	39	14	23	217	76

(常勤教員 平均年齢 50.7歳 常勤事務職員等 平均年齢 46.8歳)

非常勤教員 人数 138人 平均年齢 52.6歳

非常勤事務職員等 人数 17人 平均年齢 63.0歳

【福山平成大学】

常勤教職員

(単位：人)

	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	事務職員等
学長	1							1	19
経営学部		1	8	2	3	1		15	
福祉健康学部			19	9	9	2		39	
看護学部			8	4	10	2	3	27	
センター						1	1	2	
計	1	1	35	15	22	6	4	84	

(常勤教員 平均年齢 52.9歳 常勤事務職員等 平均年齢 49.5歳)

非常勤教員 人数 77人 平均年齢 55.0歳

非常勤事務職員等 人数 2人 平均年齢 59.0歳

2. 事業の概要

(1) 大学教育改革等の推進

全学共通教育と専門教育、キャリア教育、資格取得教育など、教育の各側面に係る実践の質的向上を一層図り、必要な修学環境の整備に努めた。授業評価アンケートや卒業生アンケートの結果を授業改善に活かすとともに、学修成果の可視化をより進展させた。担任教員は個々の学生の可視化された学修成果をきめ細かい学生指導に役立て、大学および各学部はPDCAサイクルを意識して、学科並びに大学全体としての教育目標達成度の判定に基づき、必要な改善を行った。さらに、福山大学ではブランディング推進のための研究プロジェクトへの学生の積極的参加を促し、全学部を挙げて「地域にとって頼りがいのある地域の知の拠点」となることを目指し、地域の未来を創る「未来創造人」として学生を育てることに全力を傾注した。

(2) 国家試験合格状況（令和5年3月発表分）

第37回管理栄養士国家試験

福山大学生命工学部生命栄養科学科 新卒 30人 / 34人 (88.2%)

第108回薬剤師国家試験

福山大学薬学部薬学科 114人 / 213人 (53.5%)

内訳 新卒 82人 / 123人 (66.7%)

既卒 32人 / 90人 (36.0%)

第35回介護福祉士国家試験、第35回社会福祉士国家試験

福山平成大学福祉健康学部福祉学科

介護福祉士 新卒 6人 / 6人 (100.0%)

社会福祉士 新卒 14人 / 20人 (70.0%)

第112回看護師国家試験、第109回保健師国家試験、第106回助産師国家試験

福山平成大学看護学部看護学科

看護師 83人 / 91人 (91.2%)

内訳 新卒 82人 / 86人 (95.3%)

既卒 1人 / 5人 (20.0%)

保健師 新卒 15人 / 15人 (100.0%)

助産師 新卒 7人 / 7人 (100.0%)

(3) 就職状況

(単位：%)

大学	学部	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
福山大学	経済学部	100.0	100.0	99.5	98.6	99.6
	人間文化学部	100.0	97.8	98.9	100.0	100.0
	工学部	100.0	100.0	100.0	100.0	99.3
	生命工学部	99.4	100.0	99.4	99.4	99.4
	薬学部	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	99.8	99.7	99.6	99.5	99.6
福山平成大学	経営学部	100.0	100.0	100.0	100.0	97.7
	福祉健康学部	99.3	99.3	99.4	100.0	100.0
	看護学部	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	99.6	99.6	99.6	100.0	99.6
(参考) 全国大学平均		97.6	98.0	96.0	95.8	97.3

(4) 広報活動の推進

広報活動については、新たに受験生に特化した入試情報サイトを開設するなどホームページによる情報発信を積極的に行った。大学要覧、入試のしおり、さん・サンメルマガ(年3回)、学報(年4回)の発行、テレビCM、新聞広告、バス、駅ホームや空港デッキへの看板広告などを行うとともに新聞記事やテレビ番組での広報のため、市政記者クラブに学内の行事・トピックス等の情報提供を行った。

見学会及び体験入学会については、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じ対面で実施した。在学生の母校訪問については新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(5) グローバル化の推進

福山大学では、新たにノース・サウス大学(バングラデシュ)、釜山外国語大学校(韓国)、大連外国語大学(中国)及びプリンス・オブ・ソンクラ大学(タイ)と大学間学術教育交流協定の締結を行い協定校は10カ国31大学となった。派遣・留学については、政府による新型コロナウイルス感染症に関する防疫措置の見直しを受け、国際経済学科におけるインドネシア・バリ島研修、ニュージーランドでのトップ10海外研修及び生物工学科のラオス研修を実施し計38名の学生を派遣した。大学間学術教育交流協定に基づく受け入れは、編入学生が2名、交換留学生在が4名であった。大学教育センターが協定を結ぶインドIANA大学(米国)から英語ティーチングアシスタント1名を受け入れた。また、科学技術振興機構の国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)に採択され、プリンス・オブ・ソンクラ大学(タイ)及びラジャモンコン工科大学スリビジャヤ校(タイ)から学生11名と教員2名が来校し学生と交流を行うなどグローバル化の推進を図った。

福山平成大学では、釜山外国語大学校(韓国)と新たに大学間学術交流協定を締結した。

(6) 高等学校との高大連携の充実

現在、福山大学では高等学校41校、1教育委員会と、福山平成大学では高等学校32校、1教育委員会と教育に関する交流協定を締結している。また、備後圏域の高等学校の教員との合同研修会・情報交換会として学校法人福山大学社会連携推進センターにおいて備後圏域34校の高校教員45名との教育研究会を開催した。

教育ネットワーク中国主催の高大連携公開講座は、福山大学において82人、福山平成大学において17人の高校生が受講し、中高大連携公開講座はオンラインにより開講され、福山大学は38人、福山平成大学は27人の中・高校生が受講した。

大学研究室見学は、福山大学の18研究室に中・高校生84人の参加があった。大学体験セミナーは、福山大学、福山平成大学両校の教員による模擬講義を福山大学において実施し高校生276人の参加があった。高等学校へ出張講義は、福山大学は2校、福山平成大学は7校で実施した。大学見学は、福山大学では10校479人、福山平成大学では7校196人が来学した。

(7) 地域社会との連携推進

学校法人福山大学社会連携推進センター、福山大学社会連携センター及び共同利用センター、福山平成大学びんご経営リサーチセンター及び地域交流センターを設置し地域社会との連携を図っている。また、備後圏域振興(地方中枢拠点都市構想)に向け産学金官民が広域連携する「びんご圏域活性化戦略会議(福山市)」に参画した。

公開講座の開催、市民フォーラム(食と健康のライフサイエンス)の開催、松永駅前活性化プロジェクト(プロジェクトM)による地域住民との連携、じばさんフェア、ビジネス交流フェアへの参加や地元企業・行政等との受託・共同研究を引き続き行っている。

(8) 教育・研究支援のための寄付金募集活動の推進

学術研究や教育等の充実・発展のために、福山大学においては、研究ブランディング事業他25件の研究・教育支援基金、福山平成大学においては、6件の研究・教育・地域交流支援基金を設置している。募集については、ホームページに掲載した他、福山大学卒業生並びに地元企業等への募集も継続した。

(9) 施設、設備の整備・充実

施設としては、福山大学においては、内海生物資源研究所実験棟の増築・改修工事並びに研究所排水の水質確認用窒素・リン測定装置の導入、サッカー場人工芝貼替、1号館講義室カーペットタイル貼替、30号館屋上防水改修工事、クロッシングガーデン非常放送設備の設置、23号館2321室改修工事、旧10・11・12号館跡地駐車場工事など、福山平成大学においては、3・7号館屋上防水補修工事、7号館水銀灯のLEDへの更新を行った。

主要設備としては、福山大学では、マルチタイプICP発光分光分析装置の導入、学内無線アクセスポイント、34号館マルチメディア情報室CBT用パソコン、1号館BYOD対応ICT学修室管理用サーバー、34号館講義室プロジェクタの更新等、福山平成大学では、フリーウェイトトレーニング機器の導入、スイッチングハブ、講義室用プロジェクタ及びマイク設備、看護実習用機器の更新等を行い、両大学における学生の学修環境の整備・充実を図った。

また、文部科学省の令和4年度私立大学等研究設備等補助金を活用し福山大学共同利用センターにDNAシーケンサーを導入した。

(10) 法人の活動

①新型コロナウイルス感染拡大防止対策の状況

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、文部科学省の「学校の新しい生活様式」に対応した設備等（高速自動検温システム、消毒剤、マスク等）の整備・充実を図った。

②理事会及び評議員会開催の状況

理事会は、令和4年5月20日（金）、令和4年7月20日（水）、令和4年10月21日（金）、令和4年12月22日（木）及び令和5年3月20日（月）に開催した。

評議員会は、令和4年5月20日（金）及び令和4年12月22日（木）に開催した。

③会計監査の状況

監事の会計監査は、令和5年5月19日（金）に資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、固定資産明細表、借入金明細表、基本金明細書、財産目録について行われ、監査の結果、学校会計基準に準拠し適正と認められた。

(11) 中期計画の進捗・達成状況

①認証評価において指摘された事項への対応状況

平成29年度に福山大学、令和3年度に福山平成大学が受審した認証評価において指摘のあった福山大学3学科（経済学部国際経済学科、人間文化学部メディア・映像学科、工学部スマートシステム学科）、福山平成大学1学科（福祉健康学部福祉学科）の収容定員充足率については、福山大学2学科（経済学部国際経済学科、人間文化学部メディア・映像学科）において改善が見られた。

②教職員人事に関する状況

専任教員数（助手を除く。）は、福山大学194名、福山平成大学80名で、設置基準を福山大学は23名、福山平成大学は7名上回っているものの、専任教職員数は中期計画を下回っている。

③施設整備計画に関する進捗状況

令和4年度に計画していた福山大学内海生物資源研究所増築・改修工事を予定どおり実施した。また、福山大学ものづくり工房（仮称）新築工事については令和6年度に延期した。福山大学女子学生寮の新築・改修工事については令和7年度に延期した。（今後の入寮希望学生数によっては再度延期することもある。）

④財務計画に関する進捗状況

令和4年度の基本金組入前当年度収支差額を174,048千円の収入超過と見込んでいたが、学生生徒等納付金収入の減等により375,629千円の支出超過となった。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固定資産	59,561,764	59,488,396	59,332,723	58,017,187	57,662,248
流動資産	5,335,027	5,320,380	5,239,149	5,266,079	5,031,827
資産の部合計	64,896,791	64,808,776	64,571,872	63,283,266	62,694,075
固定負債	2,166,944	2,130,617	2,133,089	2,006,898	1,896,514
流動負債	2,730,337	2,717,936	2,633,623	2,538,928	2,435,750
負債の部合計	4,897,281	4,848,553	4,766,712	4,545,826	4,332,264
基本金	53,256,352	56,167,359	56,263,973	55,354,235	55,233,881
繰越収支差額	6,743,158	3,792,864	3,541,187	3,383,205	3,127,930
純資産の部合計	59,999,510	59,960,223	59,805,160	58,737,440	58,361,811
負債及び純資産の部合計	64,896,791	64,808,776	64,571,872	63,283,266	62,694,075

イ) 財務比率の経年比較

比率	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固定資産構成比率	91.8%	91.8%	91.9%	91.7%	92.0%
有形固定資産構成比率	43.0%	43.7%	49.2%	49.7%	49.2%
特定資産構成比率	48.8%	48.0%	42.6%	41.9%	42.7%
流動資産構成比率	8.2%	8.2%	8.1%	8.3%	8.0%
固定負債構成比率	3.3%	3.3%	3.3%	3.2%	3.0%
流動負債構成比率	4.2%	4.2%	4.1%	4.0%	3.9%
内部留保資産比率	49.1%	48.5%	43.1%	42.6%	43.5%
運用資産余裕比率	5.1年	5.1年	4.3年	3.9年	4.1年
純資産構成比率	92.5%	92.5%	92.6%	92.8%	93.1%
繰越収支差額構成比率	10.4%	5.9%	5.5%	5.3%	5.0%
固定比率	99.3%	99.2%	99.2%	98.8%	98.8%
固定長期適合率	95.8%	95.8%	95.8%	95.5%	95.7%
流動比率	195.4%	195.8%	198.9%	207.4%	206.6%
総負債比率	7.5%	7.5%	7.4%	7.2%	6.9%
負債比率	8.2%	8.1%	8.0%	7.7%	7.4%
前受金保有率	204.9%	204.2%	210.6%	216.3%	218.3%
退職給付引当特定資産保有率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
基本金比率	99.1%	99.2%	99.2%	99.3%	99.4%
減価償却比率	57.2%	58.6%	52.7%	52.4%	53.8%
積立率	135.8%	122.8%	124.7%	123.8%	122.4%

②資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

収入の部	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
学生生徒等納付金収入	5,934,633	5,995,056	5,995,506	5,743,599	5,554,434
手数料収入	109,953	108,329	106,282	96,021	89,671
寄付金収入	14,944	13,273	31,806	29,445	25,957
補助金収入	576,570	515,832	918,765	1,021,742	1,166,520
資産売却収入	1,832	560	0	0	400
付随事業・収益事業収入	53,543	57,633	53,994	65,803	57,601
受取利息・配当金収入	77,905	96,633	83,415	63,115	51,733
雑収入	226,009	233,205	149,644	310,821	204,775
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	2,472,721	2,464,523	2,379,733	2,268,477	2,176,218
その他の収入	8,491,200	7,549,309	12,903,127	15,742,004	14,786,254
資金収入調整勘定	△2,594,004	△2,644,203	△2,573,122	△2,614,054	△2,432,274
前年度繰越支払資金	5,368,930	5,067,741	5,032,786	5,011,201	4,905,904
収入の部合計	20,734,236	19,457,891	25,081,936	27,738,174	26,587,193

支出の部	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
人件費支出	3,708,618	3,810,030	3,810,834	4,002,768	3,843,189
教育研究経費支出	2,094,862	2,030,652	2,496,021	2,843,934	2,385,941
管理経費支出	337,021	309,017	276,995	276,422	291,145
借入金等利息支出	8,392	7,481	6,570	5,659	4,748
借入金等返済支出	47,760	47,760	47,760	47,760	47,760
施設関係支出	74,429	1,139,280	3,871,817	215,955	212,518
設備関係支出	323,434	182,701	518,499	796,971	261,792
資産運用支出	6,716,780	4,462,000	6,702,982	12,300,000	12,303,054
その他の支出	2,456,975	2,540,013	2,484,885	2,463,472	2,588,540
資金支出調整勘定	△101,776	△103,829	△145,628	△120,671	△102,648
翌年度繰越支払資金	5,067,741	5,032,786	5,011,201	4,905,904	4,751,154
支出の部合計	20,734,236	19,457,891	25,081,936	27,738,174	26,587,193

イ)活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金 収入計	6,905,890	6,922,359	7,230,592	7,215,394	7,079,958
教育活動資金 支出計	6,140,502	6,149,700	6,583,850	7,123,124	6,520,274
差引	765,388	772,659	646,742	92,270	559,684
調整勘定等	△40,095	△23,780	△17,924	△229,964	△41,795
教育活動資金収支 差額	725,293	748,879	628,818	△137,694	517,889
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動 資金収入計	3,510,827	3,967,857	10,130,202	12,159,655	8,059,314
施設整備等活動 資金支出計	4,597,863	5,771,981	11,090,315	12,312,926	8,784,224
差引	△1,087,036	△1,804,124	△960,113	△153,271	△724,910
調整勘定等	△9,378	△13,736	34,272	4,203	16,176
施設整備等活動 資金収支差額	△1,096,414	△1,817,860	△925,841	△149,068	△708,734
小計（教育活動資金収 支差額＋施設整備等活 動資金収支差額）	△371,121	△1,068,981	△297,023	△286,762	△190,845
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金 収入計	4,956,883	3,519,825	2,710,263	3,588,903	6,563,752
その他の活動資金 支出計	4,886,951	2,485,799	2,434,825	3,407,438	6,527,657
差引	69,932	1,034,026	275,438	181,465	36,095
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金 収支差額	69,932	1,034,026	275,438	181,465	36,095
支払資金の増減額（小 計＋その他の活動資金 収支差額）	△301,189	△34,955	△21,585	△105,297	△154,750
前年度繰越支払資金	5,368,930	5,067,741	5,032,786	5,011,201	4,905,904
翌年度繰越支払資金	5,067,741	5,032,786	5,011,201	4,905,904	4,751,154

ウ)財務比率の経年比較

比 率	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
教育活動資金収支 差額比率	10.5%	10.8%	8.7%	△1.9%	7.3%

③事業活動収支計算書関係

ア)事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	5,934,633	5,995,056	5,995,506	5,743,599	5,554,434
	手数料	109,953	108,329	106,282	96,021	89,671
	寄付金	14,944	20,254	43,983	13,156	22,179
	経常費等補助金	566,808	515,832	896,153	986,209	1,151,520
	付随事業収入	53,543	57,633	53,994	65,803	57,601
	雑収入	226,009	233,205	149,644	310,905	204,777
	教育活動収入計	6,905,890	6,930,309	7,245,562	7,215,693	7,080,182
	事業活動支出の部					
	人件費	3,724,664	3,821,637	3,814,215	3,909,161	3,794,413
	教育研究経費	3,009,970	2,866,327	3,341,814	3,780,044	3,367,636
	管理経費	394,171	373,459	350,216	339,877	355,387
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	7,128,805	7,061,423	7,506,245	8,029,082	7,517,436
教育活動収支差額	△222,915	△131,114	△260,683	△813,389	△437,254	
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	77,930	96,657	83,440	63,139	53,891
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	77,930	96,657	83,440	63,139	53,891
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	8,391	7,481	6,570	5,659	4,748
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	8,391	7,481	6,570	5,659	4,748
教育活動外収支差額	69,539	89,176	76,870	57,480	49,143	
経常収支差額	△153,376	△41,938	△183,813	△755,909	△388,111	

特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	1,064	560	0	0	400
	その他の特別収入	51,516	12,051	28,884	54,155	20,689
	特別収入計	52,580	12,611	28,884	54,155	21,089
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	185	2,669	134	365,965	8,607
	その他の特別支出	0	7,292	0	0	0
	特別支出計	185	9,961	134	365,965	8,607
	特別収支差額	52,395	2,650	28,750	△311,810	12,482
	基本金組入前当年度収支差額	△100,981	△39,288	△155,063	△1,067,719	△375,629
基本金組入額合計	△81,000	△2,911,006	△96,614	△150,000	0	
当年度収支差額	△181,981	△2,950,294	△251,677	△1,217,719	△375,629	
前年度繰越収支差額	6,701,833	6,743,158	3,792,864	3,541,187	3,383,205	
基本金取崩額	223,306	0	0	1,059,737	120,354	
翌年度繰越収支差額	6,743,158	3,792,864	3,541,187	3,383,205	3,127,930	

(参考)

事業活動収入計	7,036,400	7,039,577	7,357,886	7,332,987	7,155,162
事業活動支出計	7,137,381	7,078,865	7,512,949	8,400,706	7,530,791

イ)財務比率の経年比較

比 率	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費比率	53.3%	54.4%	52.0%	53.7%	53.2%
人件費依存率	62.8%	63.7%	63.6%	68.1%	68.3%
教育研究経費比率	43.1%	40.8%	45.6%	51.9%	47.2%
管理経費比率	5.6%	5.3%	4.8%	4.7%	5.0%
借入金等利息比率	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
事業活動収支差額比率	△1.4%	△0.6%	△2.1%	△14.6%	△5.2%
基本金組入後収支比率	102.6%	171.5%	103.5%	117.0%	105.2%
学生生徒等納付金比率	85.0%	85.3%	81.8%	78.9%	77.9%
寄付金比率	0.8%	0.4%	0.7%	0.4%	0.4%
経常寄付金比率	0.2%	0.3%	0.6%	0.2%	0.3%
補助金比率	8.2%	7.3%	12.5%	13.9%	16.3%
経常補助金比率	8.1%	7.3%	12.2%	13.5%	16.1%
基本金組入率	1.2%	41.4%	1.3%	2.0%	0.0%

減価償却額比率	13.6%	12.6%	12.0%	12.4%	13.9%
経常収支差額比率	△2.2%	△0.6%	△2.5%	△10.4%	△5.4%
教育活動収支差額比率	△3.2%	△1.9%	△3.6%	△11.3%	△6.2%

(2)その他

①有価証券の状況

(単位：千円)

種 類	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	7,585,134	7,448,270	△136,864
投資信託	81,363	81,317	△46
その他	0	0	0
合 計	7,666,497	7,529,587	△136,910
時価のない有価証券	600,000		
有価証券合計	8,266,497		

②借入金の状況

(単位：千円)

借入先	期末残高	利率	返済期限	借入対象資産
日本私立学校振興・共済事業団	91,080	年2.1%	R 8. 9. 15	福山平成大学看護学部棟
日本私立学校振興・共済事業団	85,550	年1.7%	R10. 3. 15	(学)福山大学社会連携推進センター
日本私立学校振興・共済事業団	39,400	年1.8%	R10. 3. 15	(学)福山大学社会連携推進センター
合 計	216,030			

③学校債の状況

学校債は発行していない。

④寄付金の状況

(単位：千円)

寄付金の種類	金 額
特別寄付金	25,957
一般寄付金	0
現物寄付	1,910
計	27,867

⑤補助金の状況

(単位：千円)

補助金の種類	金 額
国庫補助金	1,165,188
地方公共団体補助金	532
その他	800
計	1,166,520

⑥収益事業の状況

私立学校法に規定する収益事業は行っていない。

⑦関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

該当取引なし。

イ) 出資会社

該当取引なし。

⑧学校法人間財務取引

該当取引なし。

(3)経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

①経営状況の分析

令和4年度決算における基本金組入前当年度収支差額は375,629千円の支出超過であった。しかしながら、運用資産余裕比率は4.1年で全国平均(令和3年度)1.5年の2.7倍と十分な資産を有しており、総負債比率も6.9%で全国平均(令和3年度)14.2%を大きく下回っており、財務状況は極めて安定しているといえる。

②経営上の成果と課題

財政面に関しては安定的に推移しているが、事業活動収支を黒字にすることが当面の課題である。そのためには、収容定員充足率の向上による安定した学納金の確保、経費削減や効率的支出を行いつつ、快適な修学環境の維持・向上のための施設・設備の整備・充実、大学の魅力を的確に伝えるための広報活動の充実が必要である。

③今後の方針・対応方策

令和3年度以降収容定員充足率が低下しているが、その要因としては、令和2年以降新型コロナウイルス感染症の影響で募集活動の展開が困難であった(対面によるオープンキャンパスや高校訪問等を中止した)ことのほか、入学金が近隣大学と比較して高額であり受験、入学手続きに結び付きにくい傾向にあることが考えられる。そのため、令和5年度以降は積極的な募集活動の展開や広報活動の充実を行うほか、令和6年度入学生からは入学金の減額等の学納金の改定を行い、受験者、入学手続き者、入学者の増加を図り、安定した学納金収入を目指す。

参考 設置する学校・学部・学科等の学生数の状況(令和5年5月1日現在)

【福山大学】

(単位：人)

学部等		学科等	志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数	
学 部	経済学部	経済学科	397	170	174	680	682	
		国際経済学科	49	50	22	200	132	
		税務会計学科	75	50	40	200	151	
	人間文化学部	人間文化学科	127	50	42	200	187	
		心理学科	160	50	67	200	229	
		メディア・映像学科	111	50	51	200	170	
	工学部	スマートシステム学科	42	30	7	120	67	
		建築学科	142	70	59	280	253	
		情報工学科	166	50	53	200	215	
		機械システム工学科	73	50	17	200	105	
	生命工学部	生物工学科	60	50	17	200	101	
		生命栄養科学科	40	50	26	200	111	
		海洋生物科学科	272	100	110	400	444	
	薬学部	薬学科(6年制)	357	150	106	900	632	
計			2,071	970	791	4,180	3,479	
大 学 院	経済学研究科	修士課程 経済学専攻	3	8	2	16	7	
	人間科学研究科	修士課程 心理臨床学専攻	16	10	9	20	16	
	工学研究科	修士課程 電子・電気工学専攻	2	2	1	4	3	
		修士課程 建築学専攻	2	3	1	6	4	
		修士課程 情報処理工学専攻	1	2	1	4	1	
		修士課程 機械工学専攻	0	2	0	4	0	
		博士前期課程 生命工学専攻	3	8	1	16	3	
	修士課程、博士前期課程 計			27	35	15	70	34
	工学研究科	博士課程 電子情報工学専攻	0	2	0	6	0	
		博士課程 地域空間工学専攻	0	3	0	9	0	
		博士課程 設計生産工学専攻	0	2	0	6	0	
博士後期課程 生命工学専攻		1	4	1	12	1		
薬学研究科	博士課程 医療薬学専攻	1	3	1	12	1		
博士課程、博士後期課程 計			2	14	2	45	2	
計			29	49	17	115	36	
合 計			2,100	1,019	808	4,295	3,515	

【福山平成大学】

(単位：人)

学部等		学科等	志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
学部	経営学部	経営学科	138	50	62	200	189
	福祉健康学部	福祉学科	47	60	22	240	90
		こども学科	76	50	42	200	172
		健康スポーツ科学科	136	100	98	400	375
	看護学部	看護学科	193	80	78	320	308
計			590	340	302	1,360	1,134
大学院	経営学研究科	修士課程 経営情報学専攻	1	5	0	10	0
	スポーツ健康科学研究科	修士課程 スポーツ健康科学専攻	3	5	3	10	6
	看護学研究科	修士課程 看護学専攻	2	5	2	10	4
	計			6	15	5	30
専攻科	助産学専攻科		24	10	9	10	9
合計			620	365	316	1,400	1,153

収容定員充足率(毎年度5月1日現在)

(単位：%)

学校名等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
福山大学	学部	92.4	93.1	90.6	87.5	83.2
	大学院	40.9	36.5	40.0	35.7	31.3
福山平成大学	学部	85.5	85.8	84.0	84.1	83.4
	大学院	23.3	30.0	26.7	26.7	33.3
	専攻科	40.0	70.0	100.0	70.0	90.0